# 令和元年度 CSR 活動報告書

対象期間 : 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日



未来の環境のためにできること...

循環型社会への環境づくりに取り組む「富士企業」です



発行 令和2年5月31日

I		)	<b>ごあいさつ</b>	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
Π		숲	:社概要	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
Ш		行	「動規範	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
	1		社是																									
	2		理念																									
	3		事業活動綱	領																								
IV		力	命	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
V		CS	SR 概念図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10
VI		CS	SR 活動報告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	11
	1		CSR 事業推議	焦·	7.	ネ	ジ	メ	ン	<u>ا</u>	委	員:	会		目目	的	•	目材	漂	• 5	実	漬						
	2		品質•環境	マ	ネ	ジ	メ	ン	1	委	員	会		目	的	•	目	標	•	実	績							
	3		社員教育·	訓	練																							
	4		社会貢献活	動	に	つ	١	て																				
	5		法令順守状	況	0	確	認	及	び	評	価	0	結	果	並	び	に	違	反	`	訴	訟	0	有	無			
	6		表彰につい	て																								

#### I ごあいさつ

# 「CSR 活動報告書」の発行に寄せて

代表取締役社長 大森雄嗣

「昭和」、「平成」という時代を乗り越え、昨年「令和」という新しい時代を迎える事ができました。 これもひとえに、皆様の温かいご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年も世界各地で気候変動による異常気象、地震等による多くの自然災害により、未だ仮設住宅等で不自由な生活を強いられている方に心よりお見舞いを申し上げるとともに、そして直近では、新型コロナウイルス感染症が国内及び世界各地で猛威を振るっております。感染の恐怖に怯え苦しんでおられる方々、治療や感染予防に尽力されている方に感謝の意を表します。

現在、我が国では新型コロナ感染症の第1段階は収束してきたものの、未だ治療薬や治療方法の見通しがたっておらず、第2波、第3波も予想され生活環境、そして社会経済への影響は甚大なものになると考えております。当社におきましても新型コロナ感染影響による業務の中止や延期、さらには昨年10月の消費税10%への増税、人件費の高騰等、非常に厳しい状況下におかれつつあります。

昨年より、「時代の背景を考え将来に向かって事業展開を進める」という経営戦略を立て、社 内連携を強化し、中身の濃い事業展開を進め、この厳しい状況を乗り越えていこうとしておりま す。 先が見えない現状ではありますが、後に振り返った時、「この試練が当社を強くした」と言え るよう社員一同前を向いて、精一杯取り組んでいきたいと思います。

最後になりますが、私たちにとって最も重要なのは、お客様、お取引先様、従業員の皆様の 健康と安全です。なにとぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

#### Ⅱ 会社概要

商 号 富士企業株式会社

本 社 広島市佐伯区楽々園四丁目6番19号

TEL (082) 923-0188 FAX (082) 922-5526

支 店 山田事業所

広島市西区山田町 374 番地

TEL (082) 961-3602 FAX (082) 961-3603

資 本 金 10,000,000円

創業昭和33年6月

代 表 者 代表取締役 大森雄嗣

従 業 員 数 180 名 (R2.4.1 現在)

営業種目 廃棄物収集運搬処理、浄化槽清掃・維持管理、水道施設維持管理、

下水道施設維持管理、各種環境プラント維持管理、建物総合管理、

環境計量証明事業、作業環境測定機関、建設業

沿革

昭和 33 年 06 月 富士衛生工業株式会社設立。

昭和46年02月 富士企業株式会社に社名変更。

平成 12 年 06 月 国際標準化機構 ISO14001 の認証を受ける。

平成 17 年 11 月 国際標準化機構 ISO9001 (建築物における清掃サービスの提供) の認証 を受ける。

平成19年06月 国際標準化機構 IS09001 (医療廃棄物の収集運搬) の認証を受ける。

平成 29 年 08 月 国際標準化機構 全社において IS014001 と IS09001 の統合認証を 受ける。

令和元年 08 月 広島県働き方改革実践企業の認定を受ける。

詳細は産廃情報ネットに記載しています。

産廃情報ネット  $\rightarrow$  産廃処理業者検索  $\rightarrow$  データ閲覧・検索  $\rightarrow$  処理業者名・業者番号から  $\rightarrow$  「業者番号 004411 処理業者名 富士企業株式会社」で検索してください。

また、会社ホームページはこちらから



# 社 是

「社会に真心を奉仕する 富士企業」

# 理 念

わが社は社会の「良き企業市民」の一員として 高い倫理観を持ち、持続可能な社会に向けて 責任を果たし、地域社会の発展に貢献する

# 事業活動綱領

2015年10月1日富士企業株式会社

# 序文

これまで、わが社は、社是「社会に真心を奉仕する富士企業」の 礎に事業活動をおこなってきた。社会と共生し、さらに持続して発 展していくためには、高い倫理観を持ち、法令順守はもとより、公 正な競争を通じて付加価値を創出し、自らの社会的責任を認識して、 これまで以上に安全確保や環境に配慮した活動など、さまざまな課 題の解決に積極的に取り組んでいかなければならない。

お客様、株主、取引先、従業員、行政、地域社会をはじめとする わが社を取り巻く幅広い利害関係者との対話を通じて、その期待に 応え、信頼を得るよう、より一層努め、地域社会の発展と密接に関 係していることを再認識したうえで、経済、環境、社会の側面を総 合的に捉えて事業活動を展開し、広く地域社会にとって有用な存在 とならなければならない。

また、わが社としての取り組みで終わることなく、利害関係者全体に社会的責任を踏まえた行動を促すことも大切である。

人権を尊重し、関係法令、ルールおよびその精神を順守して、自主的取り組みを実践し、社会の「良き企業市民」の一員として、高い倫理観を持ち、持続可能な社会に向けて責任を果たし、地域社会の発展に貢献する。

ここに富士企業株式会社は、「企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)」を率先して果たし、事業活動を推進していくため、本事業活動綱領を制定する。

- 1.経営トップは、行動規範の精神の実現が自らの役割であること を認識し、率先垂範の上、社内ならびにグループ企業にその徹底 を図るとともに、取引先にも促す。また、社内外の声を常時把握 し、実効ある社内体制を確立する。
- 2. 人権尊重、法令の順守はもとより、文化や慣習、利害関係者の関心に配慮した事業活動を行い、地域社会の発展に貢献する。
- 3. 社会に必要とされる安全安心な製品・サービスを提供し、お客様の満足と信頼を得る。
- 4. 人類共通の課題である環境問題への取り組みを主体的に行動する。
- 5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。
- 6. 社会の「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
- 7. 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。
- 8. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決し、関係遮断を徹底する。
- 9. 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。また、個人情報・お客様情報をはじめとする 各種情報の保護・管理を徹底する。
- 10. 行動規範に反するような事態が発生したときには、経営トップ 自らが問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止 に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任 を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分 を行う。

### CSR 推進方針 (P-001) (第1版)

富士企業株式会社は、法律を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、率先して企業の社会的責任(「CSR」という。)を果たして事業活動を推進する。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、「良き企業市民」の一員として、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、CSR 推進の内部体制を構築する。

ここに、以下の CSR 推進方針を表明する。

- 1. 行動規範の明確化と社内への徹底を図り、全社的な取り組み体制を整備し、文書類を確立し、維持し、CSR の推進にあたる。
- 2. 企業グループ全体において企業倫理を徹底して、CSR の推進を図る。あわせて、取引 先をはじめとするサプライチェーンにおいても、そうした取り組みを促す。
- 3. 自社の行動規範や法令を順守するとともに、人権を含む各種の規範を尊重する。また、地域の文化や慣習を尊重し、利害関係者との相互信頼を基盤とした事業活動を推進する。
- 4. 経営資源を活用して社会貢献活動を推進すると共に従業員の自発的な社会貢献活動を支援する。
- 5. 幅広い利害関係者に対して、情報を適時、適切に開示し、広報、問合せ窓口開設などの活動を通じて、双方向のコミュニケーションを促進する。
- 6. 個人情報・お客様情報を適正に管理し、保護する。
- 7. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決し、関係遮断をする。
- 8. 従業員の教育研修などを通じて、CSR 推進マニュアルを社内全体に周知徹底させ、確実に CSR 推進を図る。
- 9. CSR 事業活動に疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
- 10. CSR 事業活動に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
- 11. 常日頃から、危機管理の視点に立って、緊急事態の発生を予防するための社内体制を整備する。
- 12. CSR 事業活動に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
- 13. この CSR 推進方針を社内外に明らかにする。

# 品質方針 (P-002) (第1版)

富士企業株式会社は、法令を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する。マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する内部体制を構築する。

ここに、以下の品質方針を表明する。

- 1. 提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する。
- 2. お客様からの問い合わせなどには誠実に対応し、その声を提供する製品及びサービスの改良などに反映する。
- 3. 従業員の教育研修などを通じて、品質マニュアルを社内全体に周知徹底させ、確実に品質と安全性の確保を図る。
- 4. 提供する製品及びサービスに疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、 報告を義務付ける。
- 5. 品質に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
- 6. 提供する品質に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
- 7. この品質方針を社内外に明らかにする。

# 環境方針 (P-003) (第1版)

富士企業株式会社は、法令を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、人類の存立基盤に関わる極めて重要な課題である低炭素社会の構築に貢献する。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、自主的かつ積極的に温室効果ガスの削減、廃棄物の適正処理や循環型社会の形成に取り組み、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、環境保全に対する内部体制を構築する。

ここに、以下の環境方針を表明する。

- 1. 低炭素社会の構築に取り組む。
- 2. 循環型社会の形成に取り組む。
- 3. 環境リスクの対策に取り組む。
- 4. 持続可能な資源の利用、並びに生物多様性の保全に取り組む。
- 5. 従業員の教育研修などを通じて、環境マニュアルを社内全体に周知徹底させ、環境 保全の確保を図る。
- 6. 提供する製品及びサービスに疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、 報告を義務付ける。
- 7. 環境に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
- 8. 環境に影響を及ぼす問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
- 9. この環境方針を社内外に明らかにする。

# 労働環境方針 (P-004) (第1版)

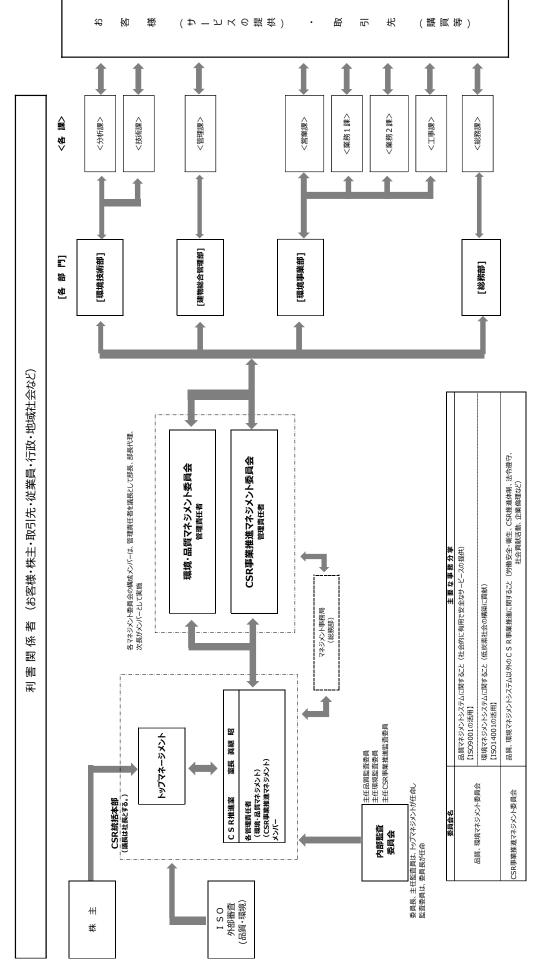
富士企業株式会社は、法令を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、人は重要な経営資源であり、労働環境の改善、安全及び健康の確保を、企業経営における最優先課題として取り組む。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、労働関連法規を順守するとともに、公正な人事、処遇制度の整備、健康で安全な職場環境など、労働環境の見直しを行い、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、労働環境に対する内部体制を構築する。

ここに、以下の労働環境方針を表明する。

- 1. ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、多様な人材の就労を可能とする人 事・処遇制度を構築する。
- 2. 雇用および処遇における差別を行わず、機会の均等を図る。
- 3. 労働災害を防止し、従業員の健康づくりを支援する。
- 4. 従業員の教育研修などを通じて、マニュアルを社内全体に周知徹底させ、労働環境の整備を図る。
- 5. 労働環境に疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
- 6. 労働環境に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
- 7. 労働環境に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
- 8. 労働環境方針を社内外に明らかにする。

# 富士企業株式会社 CSR 概念 図



#### VI CSR 活動報告

- 1. CSR 事業推進マネジメント委員会 目的・目標・実績
- (1) 限界収益の確保
- ●目的

現状業務の充実及び拡大を推進 新規業務の検討及び推進 労務(作業)効率改善・有効な投資を推進

人材の有効活用

#### ● 2019 年度 目標及び実績

項目	2019 年度目標値	2019 年度実績値	未達成
売上総利益率	18%	17.5%	<b>小</b> 连风

売上総利益率を目標に掲げ2年目になりますが、2019年度は17.5%と未達成に終わりました。

委託業務における金額の見直し、廃棄物収集業務の拡大、新規浄化槽管理の開拓、また清掃作業現場の多能工化等、各部署で作業効率の改善、業務の拡大を行ってきましたが、0.5%ほど未達成でした。

しかし要因をみてみると、残業時間を減らしライフワークバランスを充実させること や、より有休が取得しやすい環境づくりなど、働き方改革を積極的に推進していく為の **人財**への投資を行い、売上原価に影響が出たということが分かりました。

今後はさらに作業効率の改善、多能工化を推進し、社員一丸となり目標を達成できる ようにしたいと考えています。

単位(百万円)

損益状況	H30年	R01年	前年差
I. 純売上高	1,184	1,158	-26.1
Ⅱ. 売上原価	970	955	-14.8
Ⅲ. 売上総利益	214	203	-11.4
対売上収益比率(%)	18.1%	17.5%	-0.6%
IV. 販売費·一般管理費	166.5	162.3	-4.2
V. 営業利益	47.8	40.6	-7.2
対売上収益比率(%)	4.0%	3.5%	-0.5%

#### (2) 人材の確保~人材不足によるチャンスロス回避~

#### ●目的

業務拡大及び確保、業務継承に向けた人材確保 必要な技能者、有資格者の確保(育成含む) 働きやすい職場(作業)環境を目指した継続的な取組推進

#### ●2019 年度 目標及び実績

項目	2019 年度目標値	2019 年度実績値	未達成		
離職率	3.0%以下	10.0%	<b>水</b> 達双		
新規採用人数	_	12 人	_		

人材不足によるチャンスロスを回避するために、2018年度実績(6.54%)よりもさらに高い3.0%以下を目標に掲げ、2018年度から行っている完全週休2日制の定着や2019年度4月から義務化になった有給休暇取得5日以上を全社挙げて行ってまいりました。

残念な事に 2019 年度の離職率は 10.0%で、目標としては未達成でしたが、全国の平均離職率と比較すると低い状況です。また、この求人倍率の高い中、わが社の新規採用人数は 12 人と全社員の 10.9%にあたる人数を採用し、積極的、計画的に新規採用を行っています。

このように働き方改革を実践しつつ、新規採用を行うことにより、社員のワークライフバランスをさらに充実させるとともに、採用した人材が**人財**になるように、共に高めあい、離職率の低減に努めていきたいと考えています。



(厚生労働省 -平成30年雇用動向調査結果の概況- 参照)

#### (3) 交通安全と業務安全の推進~ゼロ災企業を目指した取組み~

#### ●目的

交通ルールを順守して無事故無違反を目指す 健康で安全な職場環境作りの活性化

輪止めを使用することを徹底し、意識の向上を図っています。

●2019 年度 目標及び実績

#### ①事故・違反について

項目	目標(2018年度実績)	実績	*-1
事故・違反	20 件 (事故 15 件・違反 5 件) 以下	20 件 (事故 18 件・違反 2 件)	達成

2019年度は前年度実績の20件以下という目標を掲げ、カーナビゲーションシステム、ドライブレコーダー、さらには安全装置車両の積極的導入等ハード面の導入を行い、事故・違反の低減に努めました。

結果は昨年と同件数の20件と増加はしませんでしたが、車両後進や駐車の際の事故が多く、ドライバーの不注意、安全に対する意識の低さ等、ソフト面での課題が残りました。 その為、二人以上の乗車時には、同乗者が必ず安全誘導を行うことや、駐車の際は必ず車

#### ②労働災害について

項目	目標(2018 年度実績)	実績	未達成
労働災害	2 件以下	5件	木连风

労働災害の内容 (・作業中による車両での事故 ・蜂による刺傷 等)

2019年度は前年度実績の2件以下という目標を掲げ、各部署でのヒヤリハットの水平展開、安全品質検査や安全装置車両等により、労働災害の低減に努めました。

しかし、5 件と目標の 2 倍以上発生しました。特に 2019 年度は、車輪止めとタイヤの間に指を挟むという痛ましい休業労働災害が発生しました。

直ぐに是正処置として、第三ブレーキ車両への採用、持ち手付きの車輪止めへの変更、 さらに車輪止めを使用する際の手順を再教育致しました。

このように 2019 年度は事故等が多く、わが社では異常事態と捉え、2020 年度から無事 故無災害の経過日数を本社事務所と山田事業所内に表示させ、社員全員で安全行動に取組 んでいるという共通意識をもち、交通安全と業務安全に向かってチャレンジしています。



駐車の際の誘導教育

# 無事故 🖶 無災害

2020年5月25日 現在

# 68日継続中

前回事故発生日 前回災害発生日 2020年3月18日 2020年3月18日

#### 2. 品質・環境マネジメント委員会 目的・実績

#### (1) 顧客満足度調査の実施

#### ●目的

お客様の声をお聞きし、今後の業務改善に役立ていく。また会社に寄せられた情報を全部門で水平展開する。

#### ●2019 年度 実績

顧客満足度調査を171件実施しました。

ただ昨年の外部審査で、せっかくのアンケート結果を活かせていないと指摘を受けました。そこで今年度ではお客様の満足度を向上させる為、質問事項の改善等を行っております。どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

#### (2) 品質・安全検査の実施

#### ●目的

サービスの品質と安全を確保し、お客様に安心していただけるサービスを提供する。

#### ●2019 年度 実績

全部門で品質安全検査を実施しました。

通常業務はもちろん、新規業務に対して確実に実施し、不安全行動の抽出や作業効率の改善に役立ています。

特に大きな改善として、環境分析を行う環境技術部の作業スペースを改善致しました。今まで物が多く、手狭だった作業スペースを、フロア数を増やしたほか、使用しないものは処分し作業スペースを確保しました。

これらのことで、作業効率の改善、品質向上につながり、お客様に精度の良いサービスを提供していければと考えています。





フロア数の増加

#### (3) 外部審査

昨年は7月24日~7月26日に一般財団法人 電気安全環境研究所による ISO 外部審査を受け、軽微な不適合が1件、観察事項を5件指摘いただきました。

軽微な不適合として指摘された事は、山田事業所に業務移管した際、洗浄薬品の保 管庫に表示を行っていない事でした。直ちに是正処置し、会議、そして全体教育で社 員に周知徹底致し、IS014001 及び 9001 の継続を認証して頂いています。



審査の様子





ISO9001,14001 の認証証

#### 3. 社員教育・訓練

#### (1) 社員教育

わが社では年2回全社員が集まり、労働安全、労働衛生等についての教育を行っています。内部教育として、各部のCSR活動の報告や、ISO審査の報告、また指摘いただいた件の対応なども周知しております。さらに、外部教育として下記の題目でご講演頂きました。

特に(有)藤岡保険コンサルタント様のご講演では、わが社の事故のドライブレコーダー映像を用いたもので、非常に臨場感、緊迫感があり、良い教訓になりました。

題目	講師名
「労働災害はどうしておきるか?」	中央労働災害防止協会 原田様
「まさか自分が、事故は突然起こります」	有限会社 藤岡保険コンサルタント様
「未来の健康づくり」	一般財団法人ヘルスケアマネジメント協会 振本様
「心すこやかに働くために」	日本アンガーマネジメント協会 認定コンサルタント 村山様



労働安全大会の様子



労働衛生大会の様子

#### (2) 外部講習に伴う社員教育

わが社では次世代のベースを構築する為、技術的な講習や管理者講習、さらにはマナー講習まで多岐にわたる講習に参加しております。

今後とも積極的に参加し、技術者の育成、有資格者の充実、次世代の中核管理者を 育成し、お客様に安心して頂けるサービスの提供、さらには安心して働ける富士企業 を目指しています。

<2019年度 外部教育受講実績>

項目	人数	内容	主催
技術的講習	59 人	・酸素欠乏・硫化水素危険作 業主任者 ・低電圧取扱特別教育等	・広島県労働基準協会・マツダ安全衛生協力会等
人材育成講習	12 人	<ul><li>・リーダー育成講座</li><li>・コミュニケーション力強化</li><li>講座等</li></ul>	・中小企業大学校 ・広島商工会議所等
その他	62 人	<ul><li>・産業廃棄物処理実務者研修</li><li>・浄化槽維持管理業務講習会</li><li>・新入社員フォローアップ教育等</li></ul>	・(公社)全国産業資源循環連合会 ・広島商工会議所等

#### (2) 緊急事態への訓練

2019 年度は本社に設置した AED の取り扱いの講習と火災避難訓練を想定し、消火器の設置場所の確認を実施しました。緊急事態が起こらない事が一番望ましいのですが、万が一起こった場合でも適切に、安全に対応できるように訓練しています。



AED 取り扱い訓練



消火器 設置場所確認

#### 4. 社会貢献活動について

#### (1) 社会奉仕活動

2019年度も多くの社会奉仕活動 (15活動 54人) に参加させて頂きました。 地域の方々に接する大事な機会、活動と考えています。



秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン



献血活動



年末交通事故防止県民総ぐるみ 運動街頭キャンペーン



ひろしまドリミネーション 2019 開催前清掃

#### (2) AED 設置

2019年10月、本社にAED (自動体外式除細動器)を設置しました。 万が一の際は、わが社の社員はもちろん、本社周辺地域の方々にも使用して頂けるように本社入口、AEDマップにも掲載しています。







AED マップ

- 5. 法令順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 2019 年度順守状況を確認した結果、適正でした。 また違反及び訴訟もありませんでした。
- 6. 表彰について

働き方改革について、令和元年8月に広島県より「**広島県働き方改革実践企業に認定** (取得時 広島県221社)」を受けました。認定業者と誇れるように今後も働き方改革を 推進していきたいと考えています。

# 5 回 広 島 県 働 き 方 ī 浅企業認定制度認定証授



広島県働き方改革実践企業 認定証授賞式





広島県働き方改革実践企業認定証